


1 研究主題

【(県) 小学校外国語教育推進モデル校事業】

響き合いながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成  
～全員が「したい」「聴きたい」「伝えたい」授業をめざして～

2 研究の具体

① 「みなみっ子スタンダード R5」による授業改善

<p>みなみっ子スタンダード R5</p> <p>☆全員が参加できる環境づくり</p>  <p>☆全員が自分ごととして学習を捉えられる場面(条件)設定</p> <p>☆全員が成長を実感できる評価の工夫</p>	<p>【研究の視点】</p> <p>参 授業環境の継続の工夫 (クラスルームイングリッシュ・授業の流れ)</p> <p>参 イングリッシュルームの効果的な活用</p> <p>参 朝の会や朝活での英語への継続的な慣れ親しみの場の設定</p> <p>参 スマールステップの授業展開</p> <p>参 授業のUD</p> <p>参 支援の工夫</p> <p>自 単元構成や課題設定の工夫</p> <p>自 「目的・場面・状況」が明確で必然性のある言語活動の開発</p> <p>自 各時間での意味のある言語活動の積み上げ</p> <p>自 教材提示、発問の工夫</p> <p>自 思考ツールの効果的な活用</p> <p>成 活動に活かす中間指導、自己評価、相互評価</p> <p>成 評価規準の児童との共有</p> <p>成 リフレクションシート(振り返り)の工夫</p> <p>成 指導に活かす評価</p>
---	--



【イングリッシュルームでの授業】



【「コミュニケーションスキル」の一覧】

Short English Time  
毎日の朝の会

Long English Time  
週に1回の朝活

日常生活の中の英語  
朝、昼の放送など

【継続的な慣れ親しみ】



【デジタルワークシートの例】

② 外国語での授業力の向上に向けて(同僚性の構築)



- ・「ちょこっとスキル」の共有・誰もが使える教材の一括管理
- ・学年団みんなで作る研究授業(「リレー式授業」の実施)
- ・ALT、外国語ボランティアとの「ちょこっと英会話」

「SEEDs : Sustainable English Education Development for students and teachers」  
(子どもたちと先生のための持続可能な外国語教育開発)



【「ちょこっと英会話」の様子】

3 研究の検証および改善の手立て

○ 令和3年度、令和5年度の全国学力・学習状況調査【児童質問紙】の結果より

質問	令和3年度	令和5年度
英語の勉強は好きですか。	県平均 -5.6	県平均 +2.3

研究を始めた令和3年度の児童の実態と比較すると、「英語の勉強が好き」と感じる児童が増えている。また、令和3年度には、英語で考えや気持ちを伝えあうことにネガティブな回答をする児童が多かったが、令和5年度には、英語で表現することについてポジティブな回答をする児童が多くなり、英語の学習を通して、外国や外国の人についての興味やかかわりあいたいという思いが高まったことが分かる。

- 学年団で話し合いをして授業をつくり上げていく時間や、「ちょこっと英会話」などの教員のスキルアップのための時間を確保することが課題であった。活動内容の精選をし、本来の仕事である授業づくりにこれからも十分時間を使えるようにしていくことが必要である。